

そうじができるよろこび

正木小学校では運動会を1か月前に終え、運動会で得た宝物をもとに、学年や学級の宝物を増やしているところです。

私は、「学級みんなで取り組んでいることを教えてください。校長が取材に行きます。」と子どもたちに声をかけています。すると、子どもたちから、「私たちの掃除を見にきてください」、「給食配膳がとても速いので見にきてください」、「授業を見にきてください」など、返事をくれます。私はタブレットを抱えて現場に行き、子どもたちの要望に応じて、掃除、給食配膳、授業の姿を撮影し、編集して、お昼の放送で紹介しています。

掃除の姿では、ほうきで丁寧に床をはく姿、ぞうきんで床の汚れをしっかりと取り除こうとする姿、協力して机や配膳台を運ぶ姿などが見られます。もちろん、掃除に集中しているので、静かになります。一通り、掃除の手順を終えると、「見つけ掃除」といって、汚れがまだ残っているところの掃除に取り掛かります。教室の隅、窓のレールの上、本の整理などです。本校の掃除の課題はありますが、帰りの会で掃除の振り返りを行うなど、学級ごとに取り組んでいます。

給食配膳の姿では、廊下にあるワゴンから食器を取りに行く姿、盛り付ける姿、配る姿など、素早く丁寧に取り組んでいる姿がたくさん見られました。授業終了後5分後ぐらいには配膳が終わり、すぐに給食を食べ始める学級があります。給食を食べる時間にゆとりが生まれます。本校の給食の課題は、残量が多いことです。給食は、栄養バランスを考えた献立です。好き嫌いをなく食べることができることを願っています。

新型コロナウイルス感染症の流行から、オンライン教育の充実が図られているところですが、子どもたちが学校に集まって、一緒に生活をする大切さは変わっていないと考えています。学校だからできること、正木小学校だからできること、学校にしかできないことに力を入れたいと考えています。みんなが集まって、一つのことに力を入れて取り組むことは、学校にしかできないことだと思います。

「私たちのクラスは今、掃除を頑張っている」と言いきれることは、みんなで一つのことに取り組んでいる証拠です。掃除の時間は、水曜日を除いて毎日15分間です。この掃除の時間は、私が小学生の頃もありました。さらにさかのぼって、「明治時代は子どもといえども家の貴重な労働力でもあり・・・」（正木小学校の歴史 第1部・明治期のp6参照）と書かれていることから、当時から掃除があったことが推察されます。これだけ長い時間続いている掃除は、日本の大切な文化の一つであると思います。掃除をして、床を磨いている中で、校舎への愛着や学校を好きになる気持ちが少しずつ芽生えていくことを願ってやみません。今日も明日も変わらず、正木小学校をきれいにするために掃除ができることの喜びを感じています。



梅雨が明けると本格的な夏が訪れます。お子さんの健康管理はもちろん、ご家族の皆様の健康管理にも十分にご注意ください。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 花村伸二